

令和7年度 廃棄物処理施設の維持管理に関するデータ(北清掃工場)

表1 処分した廃棄物に係る事項

データ更新日: 令和8年3月31日

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
数量(t)	9596.51	10001.26	9960.72	10578.14	10123.61	13276.54	10224.76	5844.72	6620.48	5861.82	2744.29		94832.85

備考)廃棄物の種類は一般廃棄物です。

表2 燃焼ガス温度及び一酸化炭素濃度の測定結果

※各測定結果は連続記録計の平均値

施設名	項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		単位												
1号炉	炉出口ガス温度	℃	942	942	936	927	-	934	935	953	936	-	947	
	反応集じん装置入口ガス温度	℃	150	150	150	150	-	150	150	150	150	-	150	
	脱硝入口一酸化炭素濃度	ppm	9	8	8	8	-	8	8	10	9	-	9	
2号炉	炉出口ガス温度	℃	-	936	-	928	930	938	936	933	-	-	956	
	反応集じん装置入口ガス温度	℃	-	150	-	150	150	150	150	150	-	-	150	
	脱硝入口一酸化炭素濃度	ppm	-	7	-	5	5	5	6	6	-	-	11	
3号炉	炉出口ガス温度	℃	931	929	929	928	929	934	-	-	950	958	948	
	反応集じん装置入口ガス温度	℃	150	150	150	150	150	150	-	-	150	150	150	
	脱硝入口一酸化炭素濃度	ppm	4	5	5	5	5	5	-	-	7	6	6	

表3-1 ばい煙測定結果

施設名	採取場所	項目	測定年月日	R7.4.8	R7.5.13	R7.6.10	R7.7.8	R7.8.12	R7.9.9	R7.10.14	R7.11.11	R7.12.23	R8.1.13
			報告年月日	R7.4.24	R7.6.2	R7.7.1	R7.7.23	R7.9.1	R7.10.1	R7.11.4	R7.12.1	R8.1.9	R8.2.2
1号炉	煙突36m ステーション サンプリング口	塩化水素(12%換算値)	mg/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	3	5	2	-	-	-	<1	5	-	-
		窒素酸化物(12%換算値)	ppm	25	27	16	-	-	-	16	27	-	-
		硫黄酸化物排出量	m <sup>3</sup> /h	0.15	0.09	0.04	-	-	-	0.05	0.09	-	-
		ばいじん(12%換算値)	g/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	<0.001	<0.001	<0.001	-	-	-	<0.001	<0.001	-	-
2号炉	煙突36m ステーション サンプリング口	塩化水素(12%換算値)	mg/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	-	-	-	4	4	2	1	-	-	-
		窒素酸化物(12%換算値)	ppm	-	-	-	27	26	29	15	-	-	-
		硫黄酸化物排出量	m <sup>3</sup> /h	-	-	-	0.09	0.09	0.04	0.09	-	-	-
		ばいじん(12%換算値)	g/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	-	-	-	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	-	-	-
3号炉	煙突36m ステーション サンプリング口	塩化水素(12%換算値)	mg/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	5	3	-	2	1	7	-	-	4	5
		窒素酸化物(12%換算値)	ppm	23	29	-	23	26	28	-	-	26	32
		硫黄酸化物排出量	m <sup>3</sup> /h	0.19	0.14	-	0.14	0.09	0.04	-	-	0.09	0.10
		ばいじん(12%換算値)	g/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	<0.001	<0.001	-	<0.001	<0.001	<0.001	-	-	<0.001	<0.001

表3-2 排ガス中のダイオキシン類濃度の測定結果

施設名	採取場所	測定年月日	R7.5.13	R7.9.9	R7.11.11	R8.1.13
		報告年月日	R7.6.3	R7.9.30	R7.12.2	R8.2.3
1号炉	煙突36m ステーション サンプリング口	ng-TEQ/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	0.00098	-	0.00027	-
2号炉	煙突36m ステーション サンプリング口	ng-TEQ/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	-	0.00045	-	-
3号炉	煙突36m ステーション サンプリング口	ng-TEQ/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	0.00091	-	-	0.00087

備考)廃棄物処理施設の維持管理に関するデータは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律第9条の3第6項」に基づき公表するものです。

※排出ガス等に係る法令排出基準値及び管理目標値

項目	法令基準値	管理目標値
ばいじん	0.08 g/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	0.02 g/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>
塩化水素	430 ppm (700 mg/m <sup>3</sup> <sub>N</sub> )	49 ppm (80 mg/m <sup>3</sup> <sub>N</sub> )
硫黄酸化物	12.46 m <sup>3</sup> /h (78ppm(注))	30 ppm
窒素酸化物	250 ppm	50 ppm
ダイオキシン類	1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	0.5 ng-TEQ/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>

(注) 硫黄酸化物のppm値は総量規制値をppm換算したもの

表5 放流水中のダイオキシン類濃度の測定結果

項目	採取年月日	R7.5.13	R8.2.10
	報告年月日	R7.5.30	R8.2.27
ダイオキシン類	pg-TEQ/l	0.000093	0.00040

表6 放流水中の一般項目の測定結果

項目	採取年月日	R8.2.10
	報告年月日	R8.3.3
pH	-	6.8
BOD	mg/l	1.3
SS	mg/l	<0.5

※放流水に係る排出基準値及び管理目標値

項目	排水基準	管理目標値
PH	5.8~8.6	6.5~7.5
BOD	20 mg/l	10
SS	40 mg/l	20
ダイオキシン類	10 pg-TEQ/l	10 pg-TEQ/l

(参考)用語・単位について

ng(ナノグラム)・・・10億分の1グラム

pg(ピコグラム)・・・1兆分の1グラム

TEQ・・・毒性等量のこと、ダイオキシン類には様々な異性体(代表的なもので29種類)が存在するため、その量をダイオキシン類の中で最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ダイオキシンの毒性を1として係数を作り(毒性等価係数という)、この係数と実測濃度をかけあわせた数値の合計。

m<sup>3</sup><sub>N</sub>(ノルマル立法メートル)・・・摂氏0度、1気圧の状態に換算した気体の体積

表4 冷却設備・排ガス処理設備にたい積したばいじんの除去

施設名	除去日
ストブロー	1回/日実施
反応集塵装置 (バグフィルター)	1~3号炉とも反応集塵装置1基が8室に分かれており各室30分のインターバルで順次逆流を行い、全8室を約240分を1サイクルとして運転し、ろ布に堆積したばいじんの除去を行っている。